

第 1485 回例会報告

平成28年12月8日(木)晴れ

会長挨拶

会長 河西達雄

クラブ 運営 に大幅な柔軟性

今年4月、世界中のロータリー地区の代表議員がシカゴに集まり、ロータリーの方針の見直しを行い、クラブ運営に大幅な柔軟性を認める決定をしました。これらの決定なかで最も大きな変更は、例会の頻度、場所、方法、および会員種類に関する変更です

なぜ変更が必要なのか？

一部の国や地域でロータリーが急速に成長している一方で、会員数の減少や会員平均年齢の高齢化といった問題に直面している国や地域もあります。

これまで 15 年間、ロータリーでは、会員資格、職業分類、クラブ運営に革新性を取り入れた試験的プログラムを実施してきました。これらの試験結果や会員からの報告によると、例会方法、会員資格、クラブへの参加方法などについてクラブが決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ、成長する傾向にあることが分かっています。

今回の規定審議会の決定により、すべてのロータリークラブは、例会や出席、クラブの構造、会員種類について、規定審議会が承認した新しいオプションを取り入れてクラブ細則を修正することが可

能となります。

例えば少なくとも月に 2 回、何らかの方法で例会を行う限り、例会頻度を減らすことができます。

また会員種類に関する柔軟性は、クラブ細則を修正することにより、クラブは、地元のニーズに応じて「高潔性」のある地域のリーダーとなれる人物なら会員種類を追加できます(例: 準会員、法人会員、家族会員、職業分類としての主婦、主夫など)。

会員種類に関するクラブの柔軟性を認める一方で、ロータリアンは、事業や専門職および地域社会のリーダーであることに変わりはありません。会員の資格に変更はありません。タリーの基本的信条である「ロータリーの目的」に変更はありません。親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップというロータリーの価値観に変更はありません。ロータリーの最も大切な特徴の一つである「四つのテスト」に変更はありません。

絶対に外すことができないのは IR 人頭分担金を支払い義務です。

標準定款は今まで通り全く変えずクラブが自由に細則を変えれば何でも許されるということです。そのことを定款に反してはならないが矛盾しなければよいと表現しています。

もう少し研究してみます。

◇幹事報告◇

【報告事項】

1. 米山功労者の表彰状が届きました。のちほど会

■出席報告

会員数	38名
出席対象	37名
出席者数	27名
出席率	75.0%
前回修正	88.5%

■ニコニコ BOX

4名	7,000円
累計	221,300円
目標額	60万円
達成率	36.9%

■今週のことば

本日はブツガヤの菩提樹の下でお釈迦様がお悟りになられた成道会(じょうどうえ)です。私も昨日大澤親分の啓示を受けてもう少しで悟れるような気がしました。

坂村龍玄
宮入さん本日はお忙しい中ありがとうございます。卓話楽しみにしています。
宮坂英貴

萩田さん痛がらしてしまっておめんなさい。(大腸検査をしました)
小笠原仁



長より伝達します。

2.募集した青少年基金の助成金応募が5件ありました。

あと二日ほど募集を延長し、会長エレクト、次期幹事と相談しながら決めます。とりあえず一覧を回覧します。”

【連絡事項】

1.国際ロータリー第 2600 地区事務所の年末年始休暇は 2016 年 12 月 29 日(木)～2017 年 1 月 4 日(水)と連絡がありました

2.バギオ基金の案内と事業報告書が来ました。回覧します

3.諏訪市より出初式の案内がきました。

4.諏訪市の諏訪湖浄化対策連絡協議会より講演の案内がきました。

今月の結婚祝



河西達雄会員、小笠原仁会員、吉澤邦雄会員

米山功労者表彰

米山奨学会から米山功労表彰が届きました。12月5日現在4名の表彰が届きましたので、河西会長から伝達をいたしました。

貴重なご寄付をありがとうございました。

大澤邦彦会員 第5回米山功労賞

蒲地整志会員 第9回米山功労賞

高林一紀会員 第3回米山功労賞

溝口幸二会員 第7回米山功労賞

第 1485 回例会

ロータアクトクラブの紹介

担当 青少年奉仕委員会

上田ロータアクトクラブ 宮入理栄さん

本日は、上田ロータアクトクラブの宮入理栄さん

をお迎えしロータリーが支援するロータアクトのクラブの現況をお話いただきました。

ロータアクトクラブとは、18歳から30歳までの青年男女を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、ロータリークラブが提唱する世界的な団体です。

ロータアクトの標語は「奉仕を通じての親睦」とされており、ロータアクトのプログラムは、この標語を中心として展開されます。



長野県は「国際ロータリー第 2600 地区」としてあり、地域社会を基盤として「飯田・松本・伊那・諏訪・長野・長野東・上田」の7クラブがあります。現在地区全体としては 53 名で活動しています。

今年は地区ホストを長野東ロータアクトクラブが担当し、「ICDK～一致団結～」を地区テーマに掲げ活動しています。

年次大会、国内研修、海外研修、アクターミーティングなど毎年様々な行事を行っております。来年の1月には国内(被災地)研修として第 2720 地区熊本・大分へ訪問し、地震による被災の現状を肌で感じ改めて防災意識を高めるとともに、奉仕活動を行なう予定です。

私が所属している上田ロータアクトクラブですが、現在 7 名で活動しております。地域のお祭りへの参加やお手伝、福祉施設への訪問、ロータリーさんによる卓話など、様々な例会を会員で企画し行っています。

近年力を入れているのが「ガム取り例会」です。こちらは上田市の商店街のガム取り清掃を行う例会で、地域の自治体の皆さんにもお声をかけ 50 名ほどの人数で開催しております。今後も地域に貢献できるよう活動していきたいです。

ロータアクト活動で、会員それぞれが大きく成長を遂げています。みなさまのご親族あるいは社員様で 18 歳～30 歳までの適齢の方がいらっしゃいましたら、ぜひともご紹介ください。

今後もロータアクトクラブにご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。